

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	メリー★ポピンズ 中板橋ルーム
施設所在地	東京都板橋区中板橋7-16 双美ビル1F
法人名	株式会社ゴーエスト

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色々な音にめぐりあう（表現活動）

<テーマの設定理由>

音遊びを通して身近な楽器の演奏中の音色、リズムに合わせて体を動かす楽しさ、音が重なる不思議さ等を五感を通して感じ取り、表現する面白さや喜びを感じ取る感性を育てていきたい。

2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月まで

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・楽器遊びをコーナー遊びとして常設し、子どもたちが遊びたいタイミングで触れることができるようにする。（カスタネットやタンバリン、木琴等）
- ・三味線の演奏をリアルに体験できるよう日程を調整する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

令和7年10月より、ミニウクレレやエッグシェーカー、打楽器セット等の楽器玩具を随時導入し、日常の遊びの中で楽しめるよう環境を整えてきた。これらの楽器玩具は、いつでも自由に触れて遊べるよう玩具棚に常設している。

日々の遊びを通して楽器や音が身近なものとなり、子どもたちの興味・関心が高まってきたことから、簡単な楽器作りへと活動を発展させた。散歩先で見つけた木の実や小石を活用したマラカス作りを、保護者参加の親子行事において実施している。

さらに、三味線の演奏ができるスタッフによる実演の機会を設けることで、音や楽器への興味の幅を広げることができている。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

楽器玩具の導入当初は、真新しさから各年齢の子どもたちが興味を示し、振ったり叩いたりしながら音が出る様子を楽しむ姿が見られた。玩具棚に常設し、いつでも手に取って遊べる環境を整えたことで、継続的に楽器遊びを行う様子が確認されている。

楽器遊びが日常化する中で、戸外活動時にも壁や石などを叩いて音を出す姿が見られるようになり、音への関心の高まりがうかがえたことから、楽器作りへと活動を発展させた。

また、保育者も子どもたちの成長や変化を共有しながら関わり、その様子を保護者へ発信する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

楽器遊びを通して、子どもたちの感性の育ちを実感する取り組みとなった。導入当初は、楽器玩具の扱い方が分からない園児も多く、破損や遊びの広がりに対する懸念もあったが、継続して関わる中で、保育者とともに扱い方や音の出し方を学び、楽しむ姿が見られるようになった。活動を遠し、日々の遊びを積み重ねていくことの重要性を改めて認識した。また、最終的に親子での楽器作りへと活動を展開したことで、保護者に対して日頃の子どもたちの様子や遊びの広がりを具体的に伝える機会となった。